



納所地域

小中一貫教育校創設 検討委員会だより 第2号

発行 令和5年9月

納所地域 小中一貫教育校創設

検討委員会

納所自治連合会は、「洛水中学校区における小中一貫教育校創設に向けて」検討委員会を設置し、現在、検討中です。7月には検討委員会だより第1号を発行し、これまでの経緯や検討委員の方々のご紹介などをみなさまにお知らせしているところです。

今回の第2号では、検討委員会が実施した開晴小中学校見学会、住民説明会、第2回検討委員会、納所小学校PTAでの検討経緯について、みなさまにお伝えします。

また、すでにご案内しているところですが、説明会（第2回）を開催いたします。ぜひ、ご参加ください。よろしくお願いします。

住民説明会（第2回）

▽日時 令和5年9月23日（土）10時～11時30分

▽場所 納所小学校

▽内容 ・PTAによる小中一貫教育校の検討について
・小中一貫教育校について
・質疑応答

▽その他 参加申込は不要です。直接会場へお越しください。
お子様を連れての参加も大歓迎です！



京都市立開晴小中学校を見学してきました！

- 7月13日に藪内委員長はじめ検討委員5名が、開校13年目の東山区の開晴小中学校を訪問し、野村校長先生からお話を伺い、校舎を見学しました。



- 中学生は1年生のときに先輩に大切にしてもらったという思いがあり、自然にやさしいふるまいができるようになっている。小学生は中学生に対してあこがれを持つなど相乗効果がみられると教えていただきました。
- 校舎見学では1～9年生の子どもたちが落ち着いて学ぶ様子や、一つの広い職員室に小中の多くの先生方がおられ連携されている雰囲気を感ずることができました。



【野村校長先生からのお話の様子】

- 子どもたちだけでなく、多くの先生もふくめて多様な人と触れ合う機会は、子どもたちにとって大きなメリットであり、課題はあるものの、全体としてはやはりプラスです、と野村校長先生の力強いお言葉に頷かされました。

住民説明会を開催しました。

～参加いただいたみなさまありがとうございます！～

- 7月20日に検討委員会主催で、小中一貫教育校について理解を深めていただく機会として、また、ご意見を聞き取らせていただくため、住民説明会を開催しました。
- 山本 納所小学校PTA特別委員会委員長と杉本 洛水中学校長からお話をいただいた後、質疑応答の時間にご意見をいただきました。



【山本委員長からのお話の様子】

＜山本委員長のお話＞

- ・通学をはじめとする課題を確認し、小中一貫教育校について学び、理解のうえ周知してきました。
- ・全体でみると、やはり子どもは多くの仲間と成長していくことが望ましい、と考えます。それには、小中一貫教育校のほうに可能性を感じています。
- ・小中一貫教育校は良いと思うので、前に進めるタイミングです。開校までに通学の課題解決に取り組んでいきます。

＜杉本校長先生のお話＞

- ・施設一体型の小中一貫教育校では、小学生から中学生までが同じ校舎で学び活動している環境を活かし、学年を越えた交流などを積極的に実施できます。
- ・2小学校が統合することの課題、2小学校と1中学校が小中一貫教育校になることの課題があります。地域・保護者の理解を得ながら、ひとつずつ丁寧に解決していくことが大切です。
- ・小中一貫教育校は、課題を乗り越えても実現するよさ、近くの学年の目標だけでなく、少し遠い目標も見えて、お互いが交流することをつく力があります。
- ・失敗から成長し、社会に出ていくことが望ましいです。たくさんの人と出会い、交流することが必要です。

＜質疑等＞ 以下のご意見等をいただきました。

- 小学校閉校後の地域活動や跡地活用はどうなりますか。
→他地域では閉校後も学区の地域活動は継続されています。跡地活用は、住民の意見を十分お聞きしながら、行政・関係機関等で検討が進められます。
- 学校が閉校すると、地域が活性化しなくなると感じます。もっと若い世代の意見を聞いてみてはいかがでしょうか。
- 小中一貫教育校創設の件は、すでに決まったことで、京都市教育委員会の取組として進んでいるのではないのでしょうか。
→現在、納所地域が地域の案件として、本検討委員会が検討しています。
京都市教育委員会は、納所・横大路の両地域から小中一貫教育校創設の要望書が提出されれば、要望書の内容を尊重して、具体的な取組を進めることになります。
- 通学距離が長くなることは課題。洛水中学校まで徒歩はきびしいと思います。
- 小中一貫教育校は、新しい風が入るので、良いと思います。



【質疑の様子】

「納所地域 小中一貫教育校創設 検討委員会（第2回）」開催

～今後に取り組むことを共通理解！～

▽日時：令和5年8月24日（木）19時～20時

▽場所：納所小学校

▽内容：説明会などを踏まえ意見交換（グループワーク）のうえ、出た意見を整理し、今後に取り組むことを共通理解しました。

委員同士がお互いの考えをしっかりと確認

検討委員が3グループに分かれて行ったグループワークでの意見は以下のとおりです。

○「住民説明会」について

- ・説明会に参加いただき、ご意見を伺いたい。
- ・開催日時が平日の夜間だったので、開催曜日・時間を変え、もう一度、説明会を開催したい。
- ・全体の時間の中で、参加者のご意見を聞くことはできたが、検討委員から説明する時間がなかったため、もっと質疑応答の機会を確保した方がよい。



【検討委員会の様子】



【検討委員会の様子】

○その他

- ・小学校就学前のお子様がおられる世代に知ってもらえることが大事。
- ・現時点で、納所地域として結論を出すのはまだ早いと感じる。
- ・地域みなさんで考えていることが伝わるようにしてほしい。
- ・心配ごとや反対の意見は、もっとよくするため、プラスにつながるものとして、前向きに考えて取り組みたい。

今後の取組 説明会を開催します！

- 住民説明会（第2回）を9月23日（土・祝）に開催します。
※別途、9月上旬に説明会開催の案内を配布しています。
- 周知のため、検討委員会だよりの第2号を9月前半に発行します。
- 説明会、たより発行をへて寄せられるご意見を踏まえて、第3回の検討委員会を9月28日（木）に開催し、検討します。

P T A の取組 ～「通学の課題」と「小中一貫教育校」について～

- 納所小学校 P T A は、通学の課題は解決していくことを前提に、小中一貫教育校創設に向けて取組を進めることを決議しています。
- 今後、将来の納所地域と横大路地域の子どもたち、洛水中学校区全体にとってよりよい教育環境の充実に向けて、小中一貫教育校創設に進む場合、課題にしっかり取り組みます。スタートはこれからであると気持ちを引き締めています。

1 通学の課題

- ・ 通学が長くなることが最大の課題と認識。
- ・ 洛水中学校までの通学路を想定し、実際に歩いて検証。
- ・ 地域、保護者による「見守り隊」などの検討も必要。



[PTA 検討の様子]

- ・ 横大路地域も同様の課題があり、今後、協力して進めていくことが必要。
- ・ 洛水中学校区全体に関わるものになるため、小中一貫教育校の創設を進めることになった場合、要望書の提出後、両地域や3校 P T A でしっかり検討し、解決していく手順で進める。



2 小中一貫教育校

- ・ 小中一貫教育校の見学会（開晴小中学校、向島秀蓮小中学校）、講演会（開晴小中学校初代校長）を実施。
- ・ 令和4年11月に P T A アンケートを実施（約8割の回答）。「通学に関する課題が解決するとして、小中一貫教育校の創設について、どのように思うか」の問いに対しては、約7割が肯定的な意見。
- ・ 1～9年生がともに学ぶ環境にプラス面があることを理解。
- ・ 多くの方が小中一貫教育校に前向きであることを理解。



[講演会の様子]

まとめ

- ◎ アンケート、活動報告会も踏まえ、「納所小学校の将来のことを考え、子どもたちにとっては、小中一貫教育校が良い。通学は課題であるが、これは明確であるので、小中一貫教育校創設の要望書が提出されれば、よりよい解決に向けて取り組んでいける」と考え、P T A としての意見をまとめる。
- ◎ 課題解決に向けては、京都市に対しては最大限の努力を求めていくことを確認。

「小中一貫教育校創設について」ご意見やご質問などありましたら、学校または検討委員会委員までお寄せください。

- 納所小学校 TEL : 631-2032 / FAX : 631-7201 / E-mail : nouso-s@edu.city.kyoto.jp
- 納所小学校ホームページには、「納所地域 小中一貫教育校創設 検討委員会だより」「未来の学校づくりを考えるプロジェクトだより」「洛水中学校・横大路小学校・納所小学校3校 P T A 合同だより」を掲載中